



皆さまには毎月のモニタリング調査に参加いただき誠にありがとうございます。

早いもので、今年度調査も、2月と3月の2回となり、いよいよ終わりが近づいてまいりました。まだまだ寒さが続きますが、風邪を引かないよう健康に留意して、頑張りましょう。

ふちもに活動情報

●1月モニタリングの主なコメント

- ・ 大型の鯉などが群れていた。(目撃3件)
- ・ 水量が少なく、採水が大変(5件)
- ・ 水がきれい。(3件)
- ・ ごみが目立つ、ごみ拾いをした。(3件)

以前(vol. 1)にも紹介させていただきましたが、このコーナーでは、市民モニタリングの活動に限らず、油ヶ淵に関するすべての活動情報を対象に発信していきたいと考えています。

「油ヶ淵流域水環境モニタリング」ホームページの“**掲示板**”にお寄せいただいた情報を、本コーナーで紹介していきますので是非ご利用ください。

なお、インターネットを使用されない方は、個別にご相談ください。

掲示板のアクセス先

閲覧画面

<http://www.aburagafuchi.jp/>

書き込み画面 (直接アドレス欄に記入してください。)

<http://aburagafuchi.jp/cgi-bin/bbs/imgbbs.cgi>

油ヶ淵キーワード⑤ - “油ヶ淵の漁獲量”

○どんな魚がとれるの？

漁獲量(平成18年) (単位:kg)

コイ	フナ	ウナギ	ボラ	計
700	1,800	913	80	3,493

○魚はが養殖されているの？

コイ(1,010kg)、フナ (1,240kg)、ウナギ(3,530kg)

(県水産課調べ)

スームイン! - せせらぎ愛護会 - 「いつでも防災 いつでも福祉」

そして「いつでも環境」

榎前町内会活動のスローガンである「いつでも防災・いつでも福祉」を受けて「いつでも環境」の合言葉をいれて安城市榎前町という小さな集落の中だけでささやかな活動を続けています、「せせらぎ愛護会」です。

私たち「せせらぎ愛護会」が町内広報紙以外で皆さんに紹介させていただくのは、今回が初めてのことで

す。私たち「せせらぎ愛護会」は、農村自然環境整備事業によって整備された明治用水花の木緑道榎前地区「せせらぎ散策路」の清掃管理をするボランティアとして、平成15年に登録人員80名で発足いたしました。

油ヶ淵水質モニタリングには2年前の発足当初から約10名のメンバーを登録して実施しています。

現在の活動は、「せせらぎ散策路・水路」の清掃・除草管理を月2回実施・油ヶ淵モニタリング月1回の活動をしています。

また、昨年は「農地・水・環境保全対策事業」で結成された「榎前環境保全会」の構成員となり、町内の生活・農業排水路の生物調査も行いました。

この事業は、町内の子供会や、農業生産者・消費者と、米作りを通して田んぼと水と生物(魚)について楽しく学びました。私たち「せせらぎ愛護会」は、この事業は今年も引き続き実施し、町内の皆さんが少しでも生活環境向上について理解していただければ良いと考えています。



油ヶ淵に続く水路と田圃で生物(魚)の調査



ズームイン!

愛知県農林水産部農林基盤担当局
農地計画課・農地整備課

両課では、農村地域における用排水路の水質保全や生活環境の改善等を目的として整備する農業集落排水施設の補助事業を行っています。

本事業は、農業振興地域内の農村集落 1,000 人程度を 1 処理区とし、し尿や生活雑排水を処理するための処理場及び管路等を市町村が事業主体として整備しています。

本事業は、昭和 58 年度に事業化され、平成 8 年度には、下水道や農業集落排水、コミュニティ等による汚水処理を計画的に実施するため策定された「全県域汚水適正処理構想」に基づき事業を実施しています。

農業集落排水施設は、平成 19 年度現在で、構想 210 処理区の内、171 処理区が採択され、そのうち 160 処理区が供用を開始しています。

油ヶ淵周辺地域には、農業集落排水処理施設は 2 処理区あり、いずれも完了し、供用を開始しており、地域の水質浄化に貢献しています。

油ヶ淵周辺地域の集排処理区

処理区名	市町村	処理戸数	処理人口	供用年度
福釜東部	安城市	400	2,670	H10
南中根	西尾市	178	1,080	H11



福釜東部処理場



南中根処理場

担当 農地計画課 企画・調査G (柴田)
電話 052-954-6429 (タ イルイ)
農地整備課 総合整備・団体営G (後藤)
電話 052-954-6438 (タ イルイ)



ふちもに事務局だよ!

“COD”と“BOD”って何がちがうの?

COD (化学的酸素要求量)

水質汚濁の指標の 1 つで、Chemical Oxygen Demand の頭文字を取って、COD と略され、日本語では化学的酸素要求量といいます。

試水中に、過マンガン酸カリウムや重クロム酸カリウムなどの酸化剤で酸化される有機物などの物質がどのくらい含まれるかを、消費される酸化剤の量を酸素の量に換算して示した値です。単位は ppm または mg/l。この値が大きいほど水中の有機物が多いことになり、汚濁の程度も大きい傾向があり、湖沼や海域で環境基準値が定められています。

COD の測定は、日本工業規格 (JIS) で定められた標準測定法に加えて、現地で簡単に測定できる器材も市販されており、市民による水質測定などで広く行われています。

BOD (生物化学的酸素要求量)

水質汚濁の指標の 1 つで、Biochemical Oxygen Demand の頭文字を取って、BOD と略され、日本語では生物化学的酸素要求量といいます。

水の中にある有機物による汚濁の程度を表す指標で、微生物が有機物を分解する時に消費する酸素の量で、摂氏 20 度の暗所において、5 日間で消費される酸素量を表したものです。この数値が高いほど有機物が多く水質の汚濁の程度が大きいことを示しています。

河川については COD ではなく、微生物が有機物を分解する時に消費する酸素量を数値化した、BOD による環境基準が設定されています。

湖沼や海域などの停滞性の水域で BOD が設定されていないのは、微生物が酸素を消費して有機物を分解するのに長い時間がかかることに加えて、光合成による酸素の生成と呼吸等による酸素の消費の両方を行う藻類が繁殖すると、BOD では汚れの程度を正しく測定できないためです。

担当 調整・生活排水グループ (元山)

<編集後記>

油ヶ淵流域市民モニター

ふちもに情報局 vol. 6 平成 20 年 2 月発行

発行 愛知県環境部水地盤環境課

調整・生活排水グループ

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1-2

電話 052-954-6219 (タ イルイ)

mail:mizu@pref.aichi.lg.jp